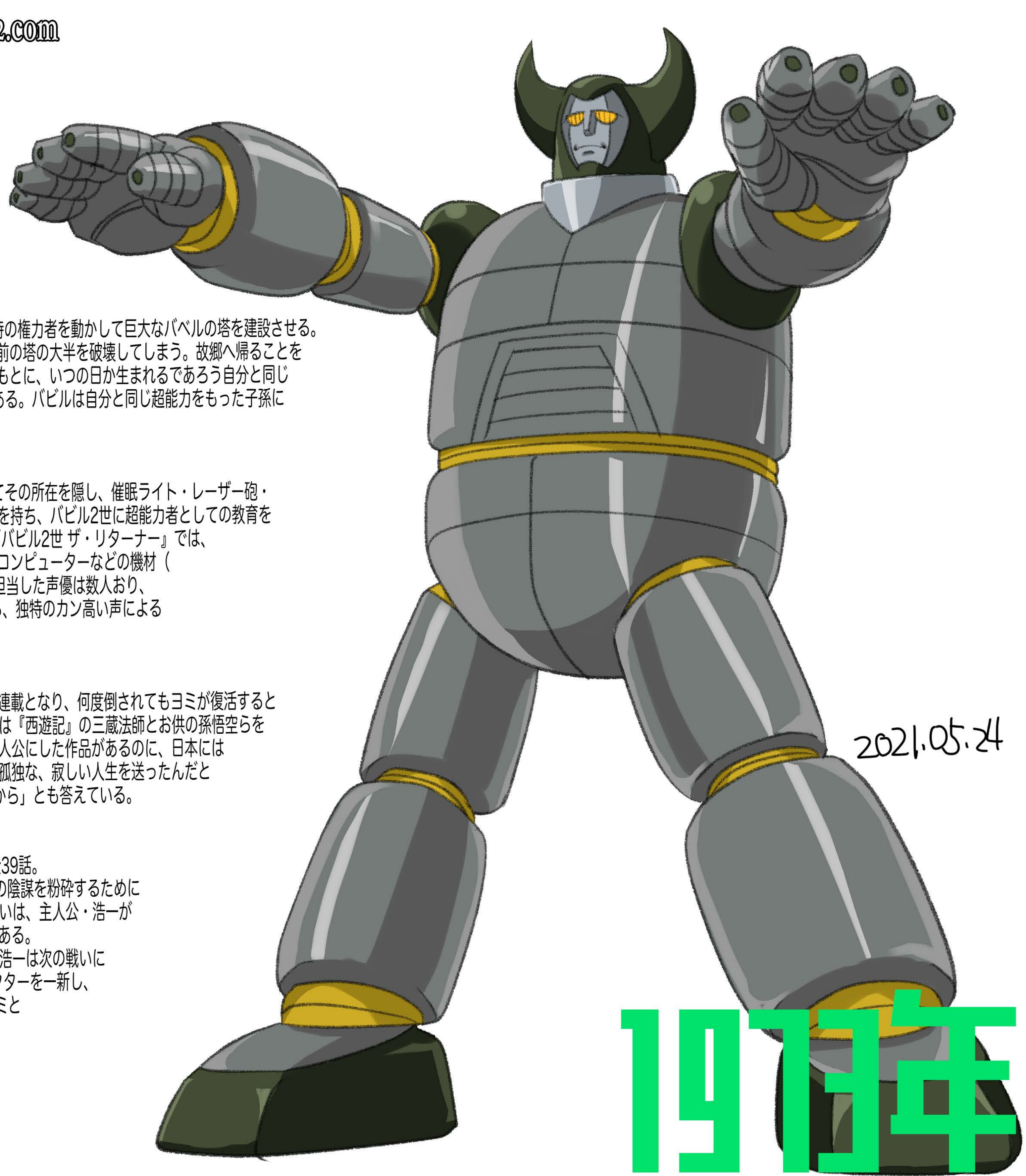


バビル2世

<https://majingai.x.fc2.com>



2021.05.24

1973年

『バビル2世』（バビルにせい）は、横山光輝の漫画および、それを原作としたアニメ作品。

【基本設定】

はるか昔、地球に不時着して帰れなくなり住み着いた宇宙人・バビル。彼が残した遺産・バベルの塔と三つのしもべを受け継いだ超能力者・浩一が、世界征服を企む悪の超能力者・ヨミと戦う物語。

【5000年前の出来事】

5000年前、宇宙人・バビルは宇宙船の故障により地球に不時着した。彼はその科学力と自らの超能力によって時の権力者を動かして巨大なバベルの塔を建設させる。当初の目的は故郷に救助信号を送るためであった。しかし科学的知識に乏しい地球人は、一瞬のミスから完成直前の塔の大半を破壊してしまう。故郷へ帰ることをあきらめて地球人と結婚したバビルは、破壊されたバベルの塔を子孫に託そうと決心する。彼は宇宙船の機器をもとに、いつの日か生まれるであろう自分と同じ体質を持つ子孫を探し出す装置と三つのしもべを作り上げた。この遺産を受け継ぐ人間が自分の2世になるのである。バビルは自分と同じ超能力をもった子孫にそれを託すことができるのを幸せだと考えた。

【バベルの塔】

超高性能コンピュータが管理しており、5000年間の地球上の様々な出来事を記録している。人工砂嵐を起こしてその所在を隠し、催眠ライト・レーザー砲・ミサイルなどで武装、侵入者は塔内に仕掛けられた数々の罠で撃退する。そして破壊されても自動修復する機能を持ち、バビル2世に超能力者としての教育を施す装置や傷ついたバビル2世を癒す治療装置も完備している。アニメ第1作のみ「バビル2世」と呼ばれる。『バビル2世 ザ・リターナー』では、オーバーテクノロジーの固まりであるコンピューター本体から情報を読み出し一部管理するのに、現代の既存のコンピューターなどの機材（アラブ系のペーパーカンパニーを利用して購入した）を利用しているとされている。なお、第1作において声を担当した声優は数人おり、初期は井上真樹夫（第6話）なども演じていたが、中盤以降は山田俊司（現 キートン山田）と矢田耕司[1]による、独特のカン高い声による「コンピューター音声」に固定された。

【漫画に関するエピソード】

『バビル2世』は当初、連載は3か月程度で完結する予定だったという。しかし、あまりの人気に2年半もの長期連載となり、何度倒されてもヨミが復活するというパターンが繰り返された。横山光輝は後年、ムック[7]のインタビューで「バビル2世と三つのしもべの関係は『西遊記』の三蔵法師とお供の孫悟空らをイメージして作った」と語っている。この作品を描いた理由については「アメリカンコミックでは超能力者を主人公にした作品があるのに、日本にはまだなかったから」と答えている。また、バビルがヨミを倒した後の人生がどうなったかを質問され、「きっと孤独な、寂しい人生を送ったんだと思いますよ」と答えている。『その名は101』を描いた理由については「バビル2世という作品に愛着があったから」とも答えている。

【1973年版】

NET（現：テレビ朝日）系列で1973年1月1日から9月24日まで毎週曜日19時00分から19時30分に放送。全39話。最新科学装備のバビル2世（漫画版におけるバベルの塔）に住む正義の超能力者バビル2世が悪の超能力者ヨミの陰謀を粉砕するために三つのしもべとともに戦うという基本設定は同じ。これに加えてアニメ独自の事件が起きる。原作との最大の違いは、主人公・浩一がバビル2世となったため、幼少時から10年間育ててもらった叔父母の古見一家と心ならずも別れたという設定である。浩一にほのかな恋心を抱く従姉妹（古見夫妻の娘）由美子が浩一を探すのだが、毎回、現場にたどり着く直前に浩一は次の戦いに備えてその地を去るために逢えないというすれ違い描写が物語を盛り上げた。第27話以降は舞台とサブキャラクターを一新し、主人公の服装も変わった。バビル2世は北海道のワタリ牧場の居候として平和な生活を営みながら、復活したヨミと戦うという展開になる。

出典: フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia) 』

【三つのしもべ】

初代バビルが残した遺産であり、2世を主として命令には絶対服従する。原作において、2世と同質のテレパシー能力を持つヨミの命令も受け付けてしまう弱点が露呈。以降、ヨミのいる場所ではしもべを呼べなくなり（2世とヨミの命令が拮抗すると行動不能に陥る）、苦しい戦いを強いられる。

【ロテム】

スライム状の不定形生命体。普段は黒ヒョウの形態を取る。どんな姿にも変身することができ応用が高いため、囮や諜報活動、また側近としてバビル2世の保護を受け持つ。ロプロスやポセイドンと違い、バビル2世とテレパシーで会話することが出来、ヨミに心を読まれないようにシールドを張ることもできる（ヨミと会話できるかは不明）。武装した人間や、並みの超能力者程度なら身体で包み込んで溶解してしまうこともできる。しかしバビル2世やヨミのエネルギー衝撃波には弱く、活動不能に陥るので戦闘にはあまり向いていない。また、生き物である以上体温を持ち呼吸をすることには変わらないため、熱センサーや二酸化炭素センサーなどを用いられると擬態した居所を見つけられてしまう。アニメ版（1作目）では、不定形生命体という説明は特にされず[4]、むしろ変身能力を持つ黒豹という扱いであり、後半でエネルギーを消耗して倒れてしまった際も黒豹の姿のままであった。また、原作版と違って普段から黒豹か女性の姿で付き従い、積極的に戦闘に参加しているばかりか、バビル2世に変身した時は、バビル2世と共にエネルギー衝撃波を使っており、万能ぶりを発揮している。

【ロプロス】

巨大な怪鳥型ロボット。超音速で空を飛び、口からロケット弾と超音波を放つ。目にはカメラを装備しており、写真を撮影してそのデータを塔のコンピュータで分析することもできる。三つのしもべの中では最初に登場し、バビル2世を家から連れ出す役目もした。ヨミの作り出したV号との戦いで外装がはがれ、以降は機械状の表面がむき出しになった（アニメでは金色に表現されている）。主に戦闘や移動などに活躍する。岩や爆弾の直撃程度ではビクともしない強固な装甲を持つが、原作第4部でバビル2世をかばい、水爆ミサイルの直撃を受けた際にはさすがに耐えきれず、跡形もなく破壊された。アニメ版（1作目）では最終回まで活躍、また、後半ではそのメカニクな外見にも関わらず、倒れたロテムの姿に悲しげに俯く描写などもあり、バビル2世の大事な仲間であることが強調されていた。

【ポセイドン】

巨人ロボット。攻撃力は三つのしもべ中最強で、指にレーザー砲、腹部に魚雷を装備している。大型船の船底を一撃で打ち抜くパンチ力・キック力を誇る。極めて硬度の高い装甲をもち、作中に破損するシーンは存在しない（先述のロプロスよりも恐らく装甲強度は上）。海中を高速で移動し海を拠点とするが、陸上でも活動できる。目のランプを点滅させて信号を送り、バビル2世と会話することが出来る。アニメ版（1作目）ではロプロスと共に最終回まで活躍。基本的には無表情なもの、後半は僅かではあるが仕草で意思表示をする描写も見られている。

出典：フリー百科事典『ウィキペディア（Wikipedia）』

バビル2世

【スタッフ】

- ・ 原作 - 横山光輝
- ・ 企画 - 斉藤侑（第1-5話）、高見義雄（第6-39話）
- ・ キャラ設計 - 荒木伸吾
- ・ 背景 - サン・アートスタジオ、スタジオコスモス、アトリエローク
- ・ 制作担当 - 江藤昌治、三沢徹夫
- ・ プロデューサー - 宮崎慎一、小沢英輔
- ・ 制作 - 東映、NET

2021.05.25

1973年

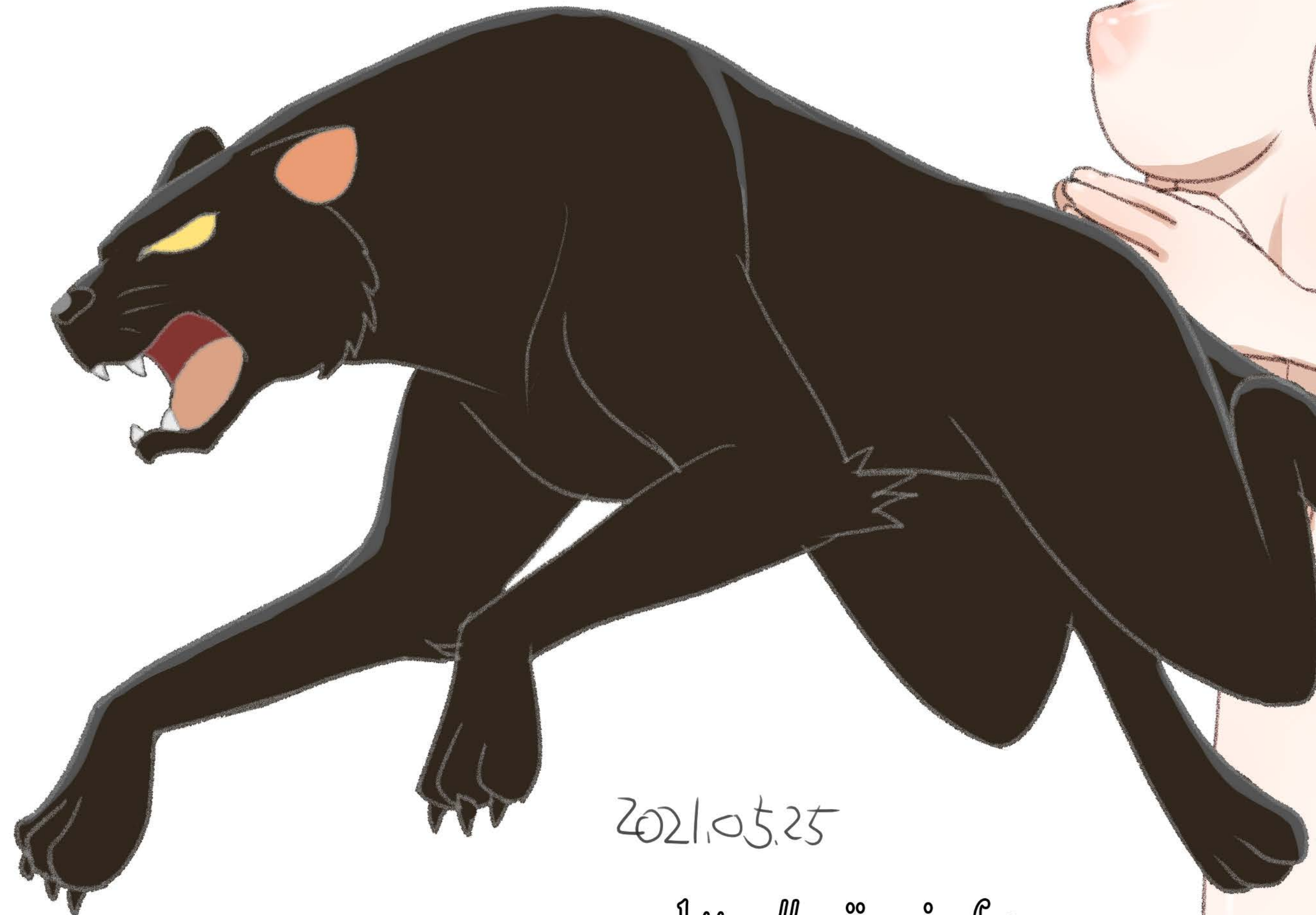
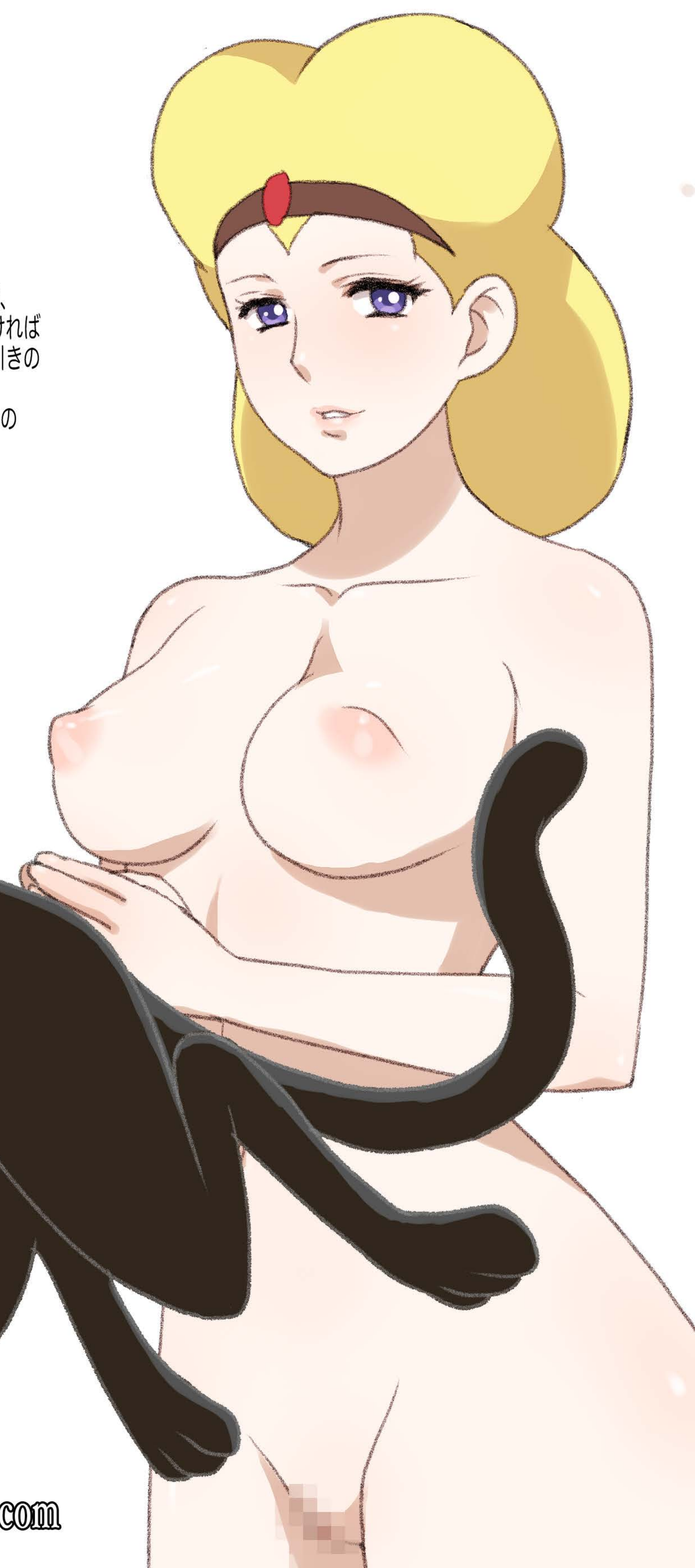
バビル2世

【余談】

バビル2世とヨミの超能力は、完全に互角であり、二人が本気で戦えば共倒れになってしまう。そのため、二人は仲間、部下や作戦を使ってできるだけ直接対決しないというスタンスを取っている。また超能力で消耗した身体を温存しなければならぬなど、パワーを無尽蔵に使える訳でもなかった。このためにバビル2世は単純なバトル漫画ではなく、駆け引きの要素が強い作品となった。

後年、荒木飛呂彦は超能力、知略で戦う少年漫画という路線、バビル2世（髪型、学生服など）から魔少年ビーティーの主人公BTとジョジョの奇妙な冒険の空条承太郎のキャラクターのデザインに影響を受けたとコメントしている。また、ジョジョの空条承太郎に関しては、バビル2世の「『学生服』という日常の象徴的な姿で、『砂漠』という非日常的な過酷な場所に立っている」というビジュアルから、「ガクラン姿の承太郎が、神秘と砂漠の国であるエジプトに向かう」シチュを連想したとの事。

出典：pixiv百科事典



2021.05.25

<https://majingai.x.fc2.com>

- 【サブタイトル】
- 1話 五千年からの使者
 - 2話 恐怖の岩石巨人ゴーリキ
 - 3話 暗黒の帝王ヨミ
 - 4話 三つのしもべたち
 - 5話 これがテレキネシスだ!
 - 6話 危機一髪! バビルの塔
 - 7話 もうひとりの司令官
 - 8話 悪魔の秘密基地
 - 9話 恐怖のロッキー山脈
 - 10話 必殺ロボット・バラン
 - 11話 アンドロイド2段攻撃
 - 12話 ロボット電送マシンX1
 - 13話 人工衛星をとり戻せ
 - 14話 危うし!! 怪鳥ロボロス
 - 15話 ノートルダム発狂事件
 - 16話 幻の100兆円
 - 17話 まっくらやみの挑戦
 - 18話 口笛を吹く悪魔たち
 - 19話 マンモスゴリラの襲撃
 - 20話 戦慄の宇宙大作戦
 - 21話 赤ちゃんは超能力者
 - 22話 深海のカニロボット
 - 23話 死霊からの招待
 - 24話 永遠の都凍れるゾロウ
 - 25話 死のV号作戦
 - 26話 総攻撃バビル2世
 - 27話 新たな闘い
 - 28話 黄金のামীバ
 - 29話 死を呼ぶギター
 - 30話 ロボット使いの暗殺怪人
 - 31話 死霊の馬ブルーペガサス
 - 32話 ダスト・デビル死の灰作戦
 - 33話 どくろ魔女の恐怖
 - 34話 夏に降る雪の狩人
 - 35話 狂った女王蜂
 - 36話 ヨミの秘密兵器ゴーリキ2号
 - 37話 謎のイプシロン星人
 - 38話 東京地下占領作戦
 - 39話 必殺! バビル2世対ヨミ

脚本	演出	作画監督
雪室俊一	田宮武	荒木伸吾
安藤豊弘	田宮武	荒木伸吾
雪室俊一	明比正行	木暮輝夫
安藤豊弘	宮崎一哉	木暮輝夫
雪室俊一	岡崎稔	我妻宏
安藤豊弘	田宮武	江藤文男
雪室俊一	明比正行	江藤文男
安藤豊弘	古沢日出夫	石黒育
辻真先	岡崎稔	我妻宏
雪室俊一	宮崎一哉	木暮輝夫
安藤豊弘	田宮武	荒木伸吾
辻真先	宮崎一哉	木暮輝夫
雪室俊一	岡崎稔	我妻宏
安藤豊弘	宮崎一哉	木暮輝夫
辻真先	古沢日出夫	石黒育
雪室俊一	田宮武	荒木伸吾
雪室俊一	佐々木勝利	江藤文男
辻真先	山口康男	岡田敏靖
安藤豊弘	茂野一清	白川忠志
安藤豊弘	宮崎一哉	木暮輝夫
雪室俊一	田宮武	荒木伸吾
安藤豊弘	佐々木勝利	江藤文男
辻真先	茂野一清	江藤文男
辻真先	山口康男	岡田敏靖
雪室俊一	古沢日出夫	石黒育
安藤豊弘	田宮武	荒木伸吾
雪室俊一	山口康男	岡田敏靖
辻真先	佐々木勝利	江藤文男
安藤豊弘	宮崎一哉	石黒育
安藤豊弘	茂野一清	木暮輝夫
雪室俊一	田宮武	荒木伸吾
辻真先	佐々木勝利	江藤文男
安藤豊弘	宮崎一哉	菊池城二
辻真先	山口康男	岡田敏靖
雪室俊一	宮崎一哉	石黒育
安藤豊弘	茂野一清	木暮輝夫
辻真先	田宮武	荒木伸吾
雪室俊一	勝間田具治	江藤文男
安藤豊弘	山口康男	岡田敏靖

出典: フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』

1973年

バビル2世

【ヨミ】

世界を支配しようとする悪の帝王。バビル2世同様にバビルの遠い子孫であり、言わばバビル2世の父親ともいべき存在で、バビル2世と同等の超能力を持つ。強大なカリスマ性を備え各地に秘密基地を建設して多くの部下を従えており、その種類も科学者・技術者・超能力者・サイボーグ作業員と多岐にわたる。各国の要人に改造人間を送り込んでいるため、国家をも意のままに操ることができる。三つのしもべに対抗してさまざまなロボット兵器を作り出し、自身の持てる超能力を振り絞ってバビル2世に戦いを挑む。部下想いの面もあり、バビル2世を倒すチャンスを犠牲にしても部下の救出を優先したり、有用な作戦提案を即採用する度量の深さをしばしば見せる。その一方で、バビル2世を倒すチャンスのために部下を見殺しにする非情さも併せ持つ。実は後継者候補としてバベルの塔に呼ばれたこともあったが、能力が不適合だったため、その記憶を消されていた。バビル2世との直接対決では何度も負けるが、倒されてもその度に復活する。さらに、第三部で宇宙ビールズに侵されて蘇ったことにより、特定の超能力ではバビル2世をも凌ぐ力を身に付けた。原作者の横山はヨミの年齢について、110歳くらいをイメージしていると述べている。

【2001年版】

2001年10月5日から12月28日までテレビ東京の深夜アニメ枠で放送された。全13話。主人公の浩一の苗字が神谷に変更され、病院経営者である古見泰造に遠縁の子という名目で育てられたという設定になっている。原作をベースとしているが、オリジナル要素が強い一作となっている。2002年2月22日から7月26日にかけて、テレビ東京メディアネットよりDVDが全6巻で発売。

【OVA】

1992年にティーアップの制作により創美企画からOVA化された。VHSのみ全4巻（各巻30分、計120分）。テレビアニメ放送後の2002年11月22日にパイオニアLDCからDVD-BOXが発売されている。2017年4月4日にはHappinetからBlu-rayが発売。原作の第2部までのストーリーを抜粋し、最終決戦部分はオリジナルストーリーとしている。この作品では、ヨミは平気で部下を使い捨てにするキャラクターとして描かれており、声はTV1作目を担当した大塚周夫の息子である明夫が担当している。

【ジャイアントロボ THE ANIMATION -地球が静止する日】

本作のキャラクターと設定は他の横山作品と同様、バビルをビッグ・ファイアに、ヨミを黄帝ライセに、三つの護衛団の名で登場したしもべが、ロデムをアキレス、ロプロスをガルーダ、ポセイドンをネプチューンと大胆に取り込まれている。また『その名は101』のエンディングから始まったのではないかという説が話題になったこともあるが、『ジャイアントロボ』は別の世界観を持つため直接繋がっているわけではない。漫画版『ジャイアントロボ 地球の燃え尽きる日』では、ビッグファイアのしもべが、ロデムの名前で登場している。また、他にもバビル2世に登場したキャラクターをモチーフにした登場人物たちが、多数登場している。出典: フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』



2021.05.26

1973年

<https://majingai.x.fc2.com>

1973年

バビル2世



【バビル2世】
本名、山野浩一（アニメ版では古見／神谷と苗字がそれぞれ違っている）。ごく普通の両親のもとで、ごく普通の家庭に育った中学生の少年だったが、ある時から夢に苛まされるようになる。バベルの塔が発する電波を感じ取ることができ、塔のコンピュータに正当な後継者=2世と認められた。5000年前に地球にやってきた宇宙人・バビルの遠い子孫であり、バビルと同じ体質を持ち超人的な知力と体力、様々な超能力を発揮する。バベルの塔と三つのしもべを受け継いだが、ヨミとは道を違える。世界の平和を乱すヨミと対決するために、その力を注いでいく。
アニメ版（1作目）では、エネルギー衝撃波や電撃を駆使してヨミとその配下達と戦うアクションシーンも多く、また第8話からブルーの戦闘服を着用し、自らバビル2世号を操縦して現地に向かうなど、よりヒーローらしさが強調されている。このバビル2世号は『リターナー』にも登場しているが、初代アニメ版とは異なるデザインとなっている。
出典：フリー百科事典『ウィキペディア（Wikipedia）』

【キャスト】
バビル2世（古見 浩一） 神谷明
ヨミ 大塚周夫
ロテム 野田圭一
ロテムが変身した女性 山口奈々
コンピューター 矢田耕司
古見 由美子 野村道子
ユキ（恒太郎の孫娘） 田浦環

【古見由美子】
古見医院の一人娘で浩一の同級生。突如行方不明になった浩一を心配していた。ヨミの工作員に銃撃され傷を負い、血だらけで現れた浩一に驚き、父と共に介抱する。アニメ版（1作目）では浩一の従姉妹で（浩一の苗字も同じ古見になった）、浩一に想いを寄せているという設定のヒロインとなっている。アニメ版3作目にも登場しているが、原作やアニメ版1作目とは髪型が異なっている。

【恒ユキ】
ユキとはアニメ版『バビル2世』第二部のキャラクター。原作漫画には存在しない。ワタリ牧場の主である恒太郎の孫娘。山野浩一と交流するうちに恋仲になる。
出典：pixiv百科事典

2021.05.25